

生活支援コーディネーターの

『いいものみ〜つけ！』

No.15

地域ズームアップ!!

新型コロナウイルス感染拡大の状況はまだまだ落ち着かない状況ではありますが、地域ではコロナ感染症予防を徹底しながら、少しずつ生涯学習課による出前講座や地域資源を活用しながら集う機会を設けている地域をご紹介します。



女川南区 出前講座 「独国和尚」

～女川南区の公園下に建てられた^{ほだかく}補陀閣をめぐるルーツを探る～

皆さんは女川町に「独国和尚」というお坊さんがいたことをご存じですか。独国和尚のことを知らなくても、三十三観音道という名前を聞いたことはないでしょうか?! 現在は、役場後方の山頂にあり、その三十三観音道にある碑の建立を勧請したのが独国和尚です。

女川町には『補陀閣』と呼ばれる、和尚が女川に戻ったときに暮らしていた庵寺があり、そこに独国和尚の墓碑がありました。

震災後は現在の場所へ移転し、令和3年3月に新たに建て直され、現在は墓碑、観音碑、三十三番碑が内部に収められており、独国和尚関連石碑が周辺に建っています。



講師は、石浜区在住の遠藤 進さん。とてもわかりやすく皆さん真剣モードです。

大原南区 出前講座

「紙芝居・昔懐かし音楽鑑賞」

～婦人部が発起し、皆さんの願いを叶える～

毎朝のラジオ体操を欠かさず行っている大原南区では、終わってからのちょっとした立ち話で聞こえてくる「早く集まりたい!」、「みんなとお話したい!!」等々の皆さんからのたくさんの声に、婦人部部長の菅野さん、婦人部役員の皆さんが立ち上がり、皆さんになじみのある「紙芝居・昔懐かし音楽鑑賞」を企画・実施しました。

終始皆さんの笑顔がとても印象的で、昔懐かしのレコード盤から音楽が流れると、うれしさのあまり踊りだしてしまう方や泣き出してしまう方も。

長く続くコロナ禍により集まるのが難しい状況が続いていたことで、皆さん、心の底から「この時を待っていた」という現れのようにも感じられました。





尾浦区 「バレエストレッチ体験」

～無理なく体を動かす機会をつくりたい～



自粛生活が続き、身体が重く以前とは違うなあと感じている方も少なくないのではないのでしょうか。

尾浦区の皆さんから、「激しいスポーツは出来ないけど、ストレッチのような気楽にできる体を動かす機会をつくりたい」とのお話が出たことがきっかけとなり、バレエストレッチを指導されている女川南区在住の小松未羽さんへ話がつながり、地域を超えたつながり活動となりました。

バレリーナのような美しく、やさしい動きで凝り固まった体をほぐしてくれます。

皆さんも一度ご体験あれ！



依頼があれば他の地区にも伺います。よろしくお願ひ致します。



暮らしの安全を考える



宮ヶ崎区 防災・炊出し訓練

宮ヶ崎区には自主防災会があり、先日その自主防災会を中心とした地域防災訓練が行われました。

今回の訓練では、女川消防署の協力をいただき、地域で火災が起き、消防車が到着するまでどのように動いたら良いのかを想定しながら行われました。



訓練を通して、齋藤区長さんは「若い世代が多く参加してくれるので、次の世代へ繋いでいくことが出来る。」と話し、地域での次世代への後継・継承に至る大切さを実感しているとのことでした。そのような中で、地域防災への取り組みは良い機会なのではないでしょうか。

清水区 防災座談会

清水区の福祉活動推進員を集めた懇談会では、震災後、町の整備も進み、高台へ移るなど、少しずつ安心感が生まれてきたことで、「いざ！避難」となった際に実際行動できるのか。また、どのように避難をし、自分の身を安全に守れるのか等の不安の声が聞かれ、もう一度災害時への意識を高めようとの意見が出されました。また、そんな矢先に熱海市での土砂災害ニュースが飛び交いました。



これらがきっかけとなり、地域で防災について話を聞いたり、これからのことを考えていきたいとの意見から「防災出前講座」を開催しました。

当日は、役場企画課から担当職員をお呼びし、ハザードマップを基に地域の避難場所などの確認を行いました。

今後は、地域内で「防災」についての取り組みなどが沢山出てくるのではないのでしょうか。

